

南相馬市復興総合計画

みんなで作る
かがやきとやすらぎのまち 南相馬
～ 復興から発展へ ～



「みんなでつくる かがやきと やすらぎのまち 南相馬 ～復興から発展へ～」の実現に向けて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの市民の尊い生命を奪うとともに、沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしました。さらには、大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故も加わり、市民の避難、社会・経済活動の制限、事業所の閉鎖や撤退などにより、一時は本市の存続さえも危ぶまれる状態になりました。

このような中、大震災発生直後から国内はもとより海外からも、心温まる多くの励ましやご支援をいただき、本市の復興に向けて大きな力をいただいたものと、改めて感謝申し上げます。

この復興総合計画は、市を取り巻く環境が大震災により、従前の総合計画を策定した平成20年当時の状況から大きく変化し、将来像を実現するために取り組む施策目標等に乖離が生じたことから、まちづくりの指針となる基本構想を見直すとともに、震災後に策定した復興計画及び環境未来都市計画を統合し、復興を着実に前進させる計画として策定したところです。

本計画で掲げる将来像「みんなでつくる かがやきと やすらぎのまち 南相馬 ～復興から発展へ～」の実現のためには、この地に根づく「報徳精神」の「自助」、「互助」、「公助」の理念に基づき、行政と市民がそれぞれ役割分担し、協働により復興を進めていくことが重要です。大震災からの復興には、原発事故の克服など、たくさんの課題がありますが、将来像の実現に向け、行政と市民が丸となり、英知を結集して取り組んでまいりたいと考えております。

復興計画で掲げた「心ひとつに 世界に誇る 南相馬の再興を」のスローガンのもと、大震災という逆境を飛躍に変え、誰もが安全・安心に暮らし、子どもたちがこの地で育ったことを誇りに思えるまちづくりを目指してまいりますので、今後とも計画の推進に対するご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、計画の策定にあたって貴重なご意見をいただきました総合計画審議会や地域協議会の皆さん、さらには、市民意識調査や各種懇談会などにご協力くださいました多くの市民の方々に対しまして、心から御礼申し上げます。引き続き、本市の復興に向け、国・県をはじめ関係各位のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

南相馬市長 桜井 勝延





目次

第1編 南相馬市復興総合計画の策定にあたって

第1章	本計画の策定趣旨	6
第2章	南相馬市を取り巻く現状	8
	① 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの市民生活の再建	
	② 市民自治の推進	
	③ 避難自治体との共生	
第3章	将来の人口	16
	① 人口の推移	
	② 年齢別人口	
	③ 産業別人口	
第4章	計画の構成	21
	① 基本構想	
	② 基本計画	

第2編 南相馬市基本構想

第1章	目指す将来像	24
	① 10年後の将来像	
	② 本計画期間に目指す「まちづくりの目標」	
	③ 基本指針と計画の全体像	
第2章	土地利用の基本的な考え方	36
	① 土地利用の基本理念	
	② 土地利用の基本方針	

第3編 前期基本計画

第1章	前期基本計画における施策展開	40
	① 前期基本計画における施策展開	
	② 前期基本計画における重点施策	
	③ 前期基本計画における目標	
第2章	復興総合計画基本指針別施策体系図	46
	基本指針1：地域の特性を見つめなおし、産業と交流がさかんなまちづくり	
	基本指針2：健康で安心して暮らすことができるまちづくり	
	基本指針3：災害に対応できる安全・安心なまちづくり	
	基本指針4：環境にやさしく、快適に暮らせるまちづくり	
	基本指針5：自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり	
	基本指針6：市民の力を生かした持続可能なまちづくり	

資料編

144

- 諮問及び答申 ■ 計画審議会委員名簿 ■ 総合計画審議会 ■ 地域協議会 ■ 小高区再生まちづくりワークショップ
- 鹿島区地域ビジョン策定（鹿島区地域協議会） ■ 各種団体（小高区）意見懇談会 ■ 各種団体（原町区）意見懇談会
- 市民との意見交換会 ■ 前期基本計画素案市民説明会 ■ 若い世代との意見交換会 ■ 市民へのアンケート
- パブリックコメント手続 ■ 庁内会議 ■ 総合計画策定体制図

